

小林富雄・著

食品ロスはなぜ減らないの？



私が食品ロス問題に取りめたのは2008年。著者れよりずっと前から食品ロ究やドギーバッグの普及啓り組んできた、日本有数のだ。主要メディア1500
「食品ロス」を報じた回数と、08年と比べて21年は50に増えた(G-Search
る)。とはいえ「食品ロスと聞かれて詳しく答えられまだ少ないだろう。本書はの専門分野であるフードシ論を軸に、食品ロス問題すけに解説している。

ジャーナリスト
井出留美

書評

賞味期限と消費期限。食者ですら混同している、こ限表示、そして規格が、口み出している。著者のい外農産物を安売りせず、損め、安くし過ぎず販売する和を」には大賛成だ。
本書は、食事をする幸せいしいものに出合った幸せを交流サイト(SNS)でることなどを読者に提案せの指標の一つ、幸福度世



相続専門の税理士、
父の相続を担当する

清田幸弘・著

著者はランドマーク税理士法人の代表税理士。相続税の申告を6000件以上手掛ける日本トップクラスの相続専門税理士である。そんな著者が初めて経験する案件――それが父の相続だった。

プロが自分の親の相続を担当するとうなるのか。生前の準備から、葬儀、手続き、申告までの一部始終を、漫画や図解を交えて分かりやすく解説している。実際に行った節税策も掲載している。

1章は「私が『相続専門税理士』になった理由」。2章で「父の相続対策をはじめめる」、3章「父、亡くなる」、そして4章で「父の相続の手続き・申告をする」と続く。相続対策は、できるだけ早めに始めた方が得策、という著者の提言を受け止めたい。

(あさ出版、1650円)